



はとつうしん

No.87 2026. 7. 1 (創刊 1989年7月)

○発行／日高市民生委員・児童委員協議会／日高市大字南平沢1020番地 日高市役所生活福祉課

祭りばやしのつどい

～高麗神社 神楽殿にて～

写真提供 高麗川地区 小林 一夫



3年間の出発にあたって



日高市民生委員・児童委員協議会
会長 杉山 博行

昨年12月の一斉改選後、新しい体制での活動内容が総会で承認され、3年間のスタートしました。民生委員法第一条で「民生委員は、社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場に立つて相談に応じ、及び必要な援助を行い、もって社会福祉の増進に努めるものとする。」と書かれています。

私達は定例会で、法に基づいた民生委員信条を必ず唱和し、自分の行動を再確認しています。私達民生委員・児童委員(主任児童委員を含む)は、各委員、どのように活動し、どのように地域に根付かせるか、そして、結果として地域の皆さんが安心して暮らせるように活動をしていくことが求められていることを、今一度改めて認識してみよう。

過日の会長研修で「民生委員・児童委員の活動環境・周知を進めるための課題」として、「ライフサイクルの中で、民生委員・児童委員について知る機会が少ない」「なり手不足は、民生委員・児童委員の大変さばかりが伝わっていて、『やりがい』が伝わっていない」ことがあげられていました。

私達は地域から求められているのです。社会奉仕の精神と一口に言いますが、これはそう簡単なものではありませんし、簡単にできるものでもありません。この精神とは、利己的な行動ではなく、人の役に立つことを優先する「利他的精神」とされています。3年間それぞれが力を出し合い、関係機関と協力をして、活動を実行していきましよう。

就任にあたって



健康推進部長

吉田 聡明

民生委員・児童委員の皆様には、地域に寄り添い、支え合い活動の中心的役割を担っていただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

我が国では、少子高齢化が進む中、日高市においても同様の傾向にあります。単身世帯の増加による地域での見守りの必要性や、生産年齢人口減少による担い手不足など、多くの課題が顕在化しております。

これらの課題に対応する取組として、市では第6次日高市総合計画後期基本計画を策定し、重点事項を定め、持続可能な「ひだかづくり」を推進してまいります。

今後とも皆様のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、皆様のご健勝をお祈りし、就任にあたっての挨拶とさせていただきます。



生活福祉課長

金子 砂知子

4月から生活福祉課長に就任いたしました。民生委員・児童委員の皆様におかれましては、地域の方々を見守り、寄り添い、各機関へのパイプ役として、ご活躍いただいておりますことに心から感謝申し上げます。

市では社会福祉協議会と共に、第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画において、「誰もがつながる安心と支え合いの地域づくり」の基本理念のもと、「地域共生社会」の実現に向け、地域福祉を推進しております。地域福祉の推進に当たっては、民生委員・児童委員の皆様のお力が必要です。

市といたしましても民生委員・児童委員の皆様が活動しやすいよう支援させていただきまします。共に地域福祉を推進していきたいと思しますので、よろしくお願いいたします。



障がい福祉課長

山下 達也

4月から障がい福祉課長に就任いたしました。民生委員・児童委員の皆様には、日頃より地域の身近な相談相手として、必要な支援を行政につなげていただき、深く感謝申し上げます。

4月より、障がい福祉課内に「基幹相談支援センター」を設置いたしました。地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、障がい福祉の相談支援体制の充実・強化を図るものでございます。

また、昨年度は、「日高市手話言語条例」を制定いたしました。この条例に基づき、手話に関する施策を引き続き推進してまいりたいと考えております。今後とも、民生委員・児童委員の皆様のお力添えのほど、よろしくお願い申し上げます。



生活福祉課

久保田 絢子

令和6年4月より民生委員・児童委員協議会事務局を担当させていただきます。

民生委員・児童委員、主任児童委員の皆様におかれましては、日頃より見守り活動を実施していただき、また、行政からの急なお願いにもご対応いただき誠にありがとうございます。

昨年12月の一斉改選では、多くの新任の方が委嘱されました。担い手不足が深刻化する中で、働きながら民生委員活動をしている方が増えており、事務局ではこれまでに活動環境の整備や、負担軽減に努めて行く必要があると感じております。また、委員活動での不安や、不明なことがありましたら、お気軽に事務局までご連絡いただけますと幸いです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

地区民児協会長に就任して



高麗地区民児協
会長 新井 信子

昨年12月の改選で、今期より高麗地区民生委員・児童委員協議会の会長に就任いたしました。初めて民児協に所属してから七期が過ぎ、八期目の今期で22年目に入りました。始めの五期15年間は主任児童委員でしたので、民生委員・児童委員としては三期目に入ったところです。一期目はコロナで活動がほとんどできなかったのですが、本格的に活動したのは一期だけです。民児協の在籍年数は長いのですが、民生委員としての経験年数の少ない私が、会長という重責を担えるのか不安な思いでした。しかし、ともに高麗地区で活動する委員の皆様、高麗川・高萩地区の会長、委員の皆様にご協力をして頂きながら、会長職を務めてまいりたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



高麗川地区民児協
会長 長尾 覚博

一斉改選に伴い、高麗川地区民生委員・児童委員協議会会長を仰せつかりました。年々地域の高齢化率が上昇し、高齢独居世帯の増加や地域課題の多様化などへの対処で、民生委員・児童委員の役割は今後益々重要になると思われます。一方、委員の担い手不足が深刻な状況で、特に高麗川地区では欠員の解消が懸案事項となっています。多岐にわたる諸課題を抱えている現状ですが、新しい仲間との出会い、地域における様々な出合いを大切にしたいと思っています。また民児協の運営は、民生委員・児童委員の役割を常に顧み、委員同士および関係機関との密な連携を基にして、有意義かつ効率的に進めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

合同定例会開催

2月13日に高麗の郷において、令和7年度の合同定例会が開催されました。今回は、「一般財団法人オーブンコミュニケーションでよハウス」代表理事の藤島薫氏が、「地域活動と民生委員」をテーマに講演されました。



講師の藤島氏

変化してゆく現代社会の中で、地域住民に寄り添い、「気づき」「つながり」「見守る」心構えが、益々必要だと感じました。特に「真のニーズ」を読み取るために、「三つのきく」(①聴く ②聞く ③訊く)と、「三つの分ける」(①聴くと話す ②人と行動 ③本人と自分)に心がけることが重要だと教えられました。拡大している「孤立・孤独」の問題で悩める子供(不登校、ヤングケアラー)や大人たち(ひきこもり、ダブルケアラー)の「心のサード・スペース」的存在になることが求められていると感じました。

高萩地区 黒野 英弘

活動日誌より



高麗地区
和田 幽香利

昨年の出来事。区の組長だった主人に、ある班長さんから、連絡のつかない班員の方がいるので、私と一緒に調べて欲しいと、相談が来しました。そのお宅は御家族二人でした。何回かお宅に足を運びましたが、残念ながらお会い出来ませんでした。そこで、近所の私の知人に相談し協力を求めました。数日後、お隣の方が、班員の御家族が帰宅したときに話しかけて、「(班員の方は)病気で入院している。」との情報を得られたと知人から連絡をもらいました。早速、班長さんに報告すると、「民生委員・児童委員さんはすぐに調べて下さって素晴らしいですね。」と感謝されました。いざとなれば親身になって協力してくださった皆さんのお陰であって、人情深い地域で活動出来る幸せを感じた出来事でした。

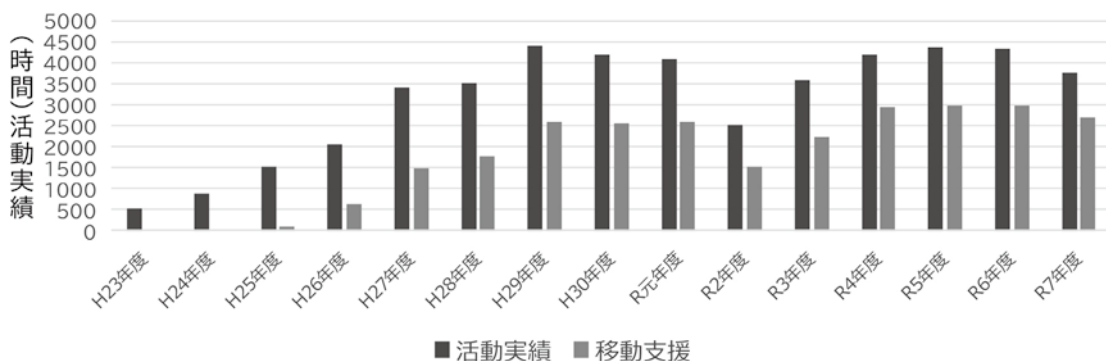
地域おたすけ隊の活動

お互い様の気持ちを行動で広げるまちづくり活動として、平成23年度に2隊から始まった地域おたすけ隊は、今年度で15年目を迎えました。現在、6地区5団体に広がり、ピーク時には、平成29年の活動時間が、4411時間という活躍でした。コロナで一旦は減少するも、令和7年度の活動実績は、3780・5時間、利用会員は、917人で、163人の協力会員で支えています（図-1）。

支援内容は、電球の交換、ゴミ出し、庭の手入れ等、高齢や障がい等で、暮らしの中のちょっとした困りごとをお手伝いします。中でも運転を伴う付き添い支援の活動が最も多く、全体の活動の80％、90％を占めています。昨年度から始まったおでかけタクシーの効果も期待しながら、付き添いが必要な方の移動支援も行っています（図-2）。

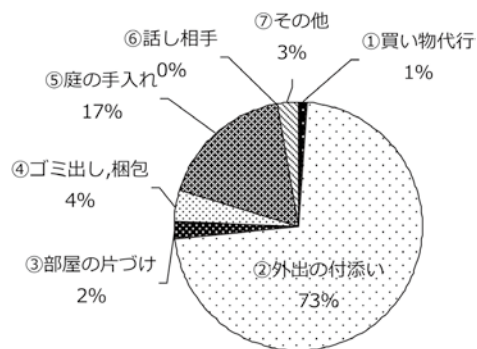
活動の中では、利用会員さんにとって、地域おたすけ隊は、なくてはならない存在であること

図-1 初年度～令和7年度活動実績とそのうちの付き添いを伴う移動支援



とや、「ありがとう」の言葉で、協力会員の心にも栄養を与える相乗効果もあり、「活動をする

図-2 令和7年度支援内容別活動割合



ことで元気でいられる」というお話しも伺っています。

また、民生委員さんの中にも協力会員を担っている方が多く、対象となる心配な方を把握できるなど、活動の役に立っています。

一緒に活動してくださる協力会員を随時募集しています。興味のある方は、ぜひ日高市社会福祉協議会までお問い合わせいただき、健康でいるためと、地域の支え合いとまちづくり活動の一翼を担っていただくことを願っています。

日高市社会福祉協議会

鹿山 朝香

あんなこと・こんなこと



高萩地区
大久保 祐二

空き家問題について他の地区も困っていると思います。長年空き家になっていて家の近隣の方からの相談で、浴室の換気扇に大きなスズメバチの巣があり、通学路エリアでもあり、早急に対応してほしいとの事でした。確認したところ、換気扇より大きく巨大な巣でした。すぐに市や管理者等と連絡をとった結果、タイミングよく管理者が土地売却の為に家の解体を決めている事を知り、約二週間ほどでスズメバチの巣の撤去となりました。近隣住民から感謝され、一つ、地域の為に役立つ事ができ、充実感を味わいました。今後も引き続き地域の為に、高齢者のみならず、子ども達にも目を向けて活動を行っていきたいと思っています。

部会長・主任児童委員代表紹介



生活援護部会

高木 安寛

二年間、「高萩地区・防犯・萩っ子見守り隊」の隊長として登下校を中心に元気な子供たちを見守ってきました。

これからの三年間は、生活援護部会の部会長として、困っている人等を助け、見守る援護をテーマに、部会活動を進めていこうと考えています。



高齢者部会

深瀬 周一

令和8年4月に新メンバーによる「高齢者部会」が始動しました。いやしくも二期目の小生が部会長を仰せつかりました。日頃より考えていること三点。「実態把握」「見守り」「身近な相談」であります。公的サービスとの橋渡しをすることが部会の核心ととらえ、調査・勉強してまいります。ご協力の程、宜しくお願いいたします。



家庭児童部会

須藤 しのぶ

近年、子育ての孤立化や虐待、いじめ、不登校など、家庭や子どもを取り巻く課題は多様化しています。こうした中、地域での見守りや支援が重要となってきました。家庭児童部会としては、身近な立場で寄り添えるよう、活動していきたいと思っています。



障がい者部会

越野 一夫

高萩団地14・15・17・18班を担当しております。前年の今迄は、高齢者部会で勉強しておりました。本年から新たに障がい者部会の勉強をしたいと思い、部会長を引き受けました。皆様のご指導をいただきながら、部会の発展を目指してまいります。



地域福祉部会

下田 杉郎

地域福祉部会長をお引き受けするにあたり、部会員の皆様が楽しく、和気あいあいと活動できるようにと考えておりますので、皆様のご協力をお願いします。

地域の福祉についての見識を深め、地域社会に役立つよう、活動していきたいと思っています。



広報部会

小林 一夫

「はとつうしん」は号を重ね、87号になります。かつては、手作りの広報も発行したようです。現在も、より良い紙面を目指し、記事内容や文章について部会員の間で議論・検討を続けています。これからも、各部会や民生委員・児童委員の活動、そして福祉関係機関の取り組み等を分かりやすく伝えられるよう、取り組んでいきたいと思っています。



主任児童委員

岡崎 三千代

民生委員・児童委員の中で、児童福祉を専門に担うのが主任児童委員です。日高市では各学区に1名配置されています。学校や関係機関と情報を共有し、民生委員の皆さんと連携しながら、子どもや子育て世帯に必要な支援へつなぐ役を務めています。

部会活動について

現在、日高市民児協には6部会があり、各委員が必ずどれかの部会に所属し、活動をしています。以前から「3年間同じ部会で活動をするのもよいが、他の部会がどんな活動をしているのか興味がある。二重籍でもいいのでは」といった声が出ています。これは前向きな取り組みとしての声と捉えています。そこで、他の市町村市民児協等の活動も参考に、部会活動について、一度今期中に検討をしてみることとしました。

杉山 博行

令和8年度 日高市民児協 定期総会 開催



谷ヶ崎照雄市長

4月28日（火）、総合福祉センター高麗の郷において、令和8年度の各地区民児協の定期総会が開催され、活動方針や事業計画の策定後、役員の選出を行いました。次に、市の民児協の総会において、来賓に谷ヶ崎照雄市長をはじめ、和田貴弘市議会議員・大沢 弥社会福祉協議会会長を迎え、日高市民児協の定期総会が開かれました。

市長より高麗川駅自由通路の完成や小中学校の給食費無償化等が紹介され、次に最近の特殊詐欺の現状が報告されました。日高市でも、高齢者を中心に被害が増加しているとのこと、



民生委員の見回りとともに、被害防止への取り組みも必要かと思いました。

来賓より挨拶をいただいた後、議長に深瀬周一委員、書記に渡部優子委員を選出し、前年度の事業報告・歳入歳出が、監査報告後、承認されました。

次に本年度の役員・基本方針・活動目標・事業計画・歳入歳出予算が提案され、承認されました。

基本方針の中では、委員のな

り手が不足し、欠員の地区が多いということが大きな課題であり、自治会長・委員同士・行政と協力し合って、委員の充足に取り組んでいきたいとのことでした。

また、活動目標については、高齢者対策・委員同士の連携・積極的な研鑽・小中学校との連携など多岐にわたりますが、特に部会活動の見直しについて、検討委員会を設置して検討したいとのことでした。

広報部会

新任民生委員・児童委員

令和8年4月1日付

高麗地区 中川 淳

高萩地区 井下 隆司

中尾 幸枝
山田 恵子

退任主任児童委員

令和8年3月31日付

高萩地区 飯塚 千絵

あとがき



昨年の猛暑に続いて冬の寒さ、そして記録的な豪雪。さらに、年々早まる桜の開花。それぞれの季節を楽しむ間もなく、季節は慌ただしく過ぎていきます。それでも、厳しい寒さの後の、春の柔らかな日差しと様々な花。何かほっとするものがあります。

昨年7月3日、広報部会としては初めての県外研修でしたが、より良い広報誌作りを学びたいということで、横浜市にあるニースパーク（日本新聞博物館）を訪れ、紙面づくりについてのレクチャーを受けました。分かりやすい文章を書くコツや見出しの工夫など、実際の紙面作りに役立つ内容でした。プロの方から教えていただいたことを参考に、これからもより良い広報誌作りに取り組んでいきたいと思っています。

高麗川地区 小林 一夫